平成２９年度　子ども読書ボランティア・ステップアップ講座

第１回　実施報告

【日時・会場】
　平成２９年１２月１２日（火）　１３：００～１６：００　　参加者：６６名
　滋賀県立文化産業交流会館

【講義 1】
　講義Ⅰ「お話し会と絵本の選び方」
　講師　佐藤　志歩氏（守山市立図書館　係長）

【報　告】

　佐藤先生からは、おはなし会の準備から実演まで幅広くお話しいただきました。おはなし会の準備については、プログラムの立て方や幼稚園や学校への聞き取りなど、図書館での実践をもとに具体的な説明がありました。また、絵本の選び方では、昔から読み継がれている本の重要性について指摘されるとともに、それらの絵本や紙芝居を実演され、受講者にわかりやすく伝えていただきました。

【受講者の感想から（抜粋)】

「紙芝居の実演がとても引き込まれ、面白かったです。どんな絵本を選ぶといいのかいつも悩んでいたのですが、すごく参考になりました。」
「新しい本を選びがちだったので古い本を読んでみようと思います。」
「絵を読むという新しい視点でお話を聞けたので勉強になりました。」

【講義２】
　講義Ⅱ「子どもたちの読書を豊かに
　　　　　　　　　―ボランティアにできること　ボランティアだからできること―」
　講師　湯澤　美紀氏　（ノートルダム清心女子大学　人間生活学部児童学科　准教授）

【報　告】

　湯澤先生からは、発達心理学の見地から、言葉の発達を通した子どもの育ちについてお話しいただきました。親と子の関係性、子どもにとっての読書の意義など、多岐にわたる内容を、それぞれご自身のエピソードをもとにわかりやすくご説明いただきました。

【受講者の感想から（抜粋)】

「わかりやすいエピソードが入って、難しい内容

もよく理解できました。」
「読み聞かせに入る前に考えるべきことをいろいろと知ることができました。」
「湯澤先生のおはなし、何度もお聞きしたいです！」

第２回　実施報告

【日時・会場】
平成３０年２月９日（金）　１３：００～１５：３５　　参加者：２５名
草津市立まちづくりセンター

【講義】
講義　「絵本から読み物へ～授業での実践をもとに～」
講師　石橋　幸子氏
（前東京都小平市立小平第一小学校司書教諭、東京学芸大学非常勤講師）

【報　告】

石橋先生からは、小学校の授業での実践をもとに、児童を絵本から読み物へどのように導いていくかお話しいただきました。絵本とヤングアダルトの間をつなぐ幼年文学という切り口で、多くの本を紹介いただくとともに、児童同士が物語を一緒に読むリテラチャーサークル（読書会）の説明やブックトークの実演など、具体的な活動のヒントをたくさんいただきました。

【受講者の感想から（抜粋）】

「実践の中からたくさんの本を紹介していただき、絵本以外の読み聞かせもしてみたいと思いました。」
「子どもに読んでみたいと思ってもらうには、自分がまず面白いと思うこと、楽しむことが大切だと思いました。」
「物語の本を紹介するのは敷居が高い気がしていたが、いろんなやり方があると知れてよかった。」

【情報交換・意見交流】
進行　石橋　幸子氏
（前東京都小平市立小平第一小学校司書教諭、東京学芸大学非常勤講師）

【報　告】

　受講者がグループに分かれ、それぞれ持ってきた「絵本から読み物へつながる本」を紹介しあいました。また、読書ボランティアとしての活動の中で、日々、思っておられること、成功・失敗事例、他の参加者に聞きたいことなど、情報交換をしていただきました。

【受講者の感想から（抜粋）】

「お互いの抱えている問題・解決法、良いアイデアなどたくさんの情報共有ができ、とても充実した時間でした。」

「それぞれの活動を通しての生の声を聴くことができました。」

「本の選び方、注意点など新しい情報があってとっても勉強になりました。」